

# Chat

エラーコード

製品ドキュメント



Tencent Cloud

## Copyright Notice

©2013-2024 Tencent Cloud. All rights reserved.

Copyright in this document is exclusively owned by Tencent Cloud. You must not reproduce, modify, copy or distribute in any way, in whole or in part, the contents of this document without Tencent Cloud's the prior written consent.

## Trademark Notice



All trademarks associated with Tencent Cloud and its services are owned by Tencent Cloud Computing (Beijing) Company Limited and its affiliated companies. Trademarks of third parties referred to in this document are owned by their respective proprietors.

## Service Statement

This document is intended to provide users with general information about Tencent Cloud's products and services only and does not form part of Tencent Cloud's terms and conditions. Tencent Cloud's products or services are subject to change. Specific products and services and the standards applicable to them are exclusively provided for in Tencent Cloud's applicable terms and conditions.

# エラーコード

最終更新日：：2024-04-12 10:03:58

## (一) IM SDKのエラーコード

### 説明：

Web SDKに関連するエラーコードについては、[エラーコード比較テーブル](#)をご参照ください。

### 一般エラーコード

エラーコード	説明
4001	ファイルメッセージの失敗です。該当するURLがIMによって割り当てられたストレージリソースではありません。
4002	ファイルメッセージの失敗です。内部サーバーネットワークエラーです。
4003	画像メッセージの失敗です。Cloud Infiniteから返されたフォーマットエラーです。
4004	画像メッセージの失敗です。無効な画像フォーマットです。
4005	ファイルメッセージの失敗です。法令違反ファイルの送信を禁止します。
6015	実行中で、インターフェース呼び出しの管理を行ってください。例えば、最初の初期化操作がコールバックの前で行われると、それ以降の初期化操作はこのエラーコードを返します。
6017	パラメータが無効です。パラメータが要件に適合しているかチェックしてください。具体的なエラー情報を確認するには、いずれかのフィールドを定義してください。
6022	ローカルIOの操作エラーです。読み取り/書き込み権限があるか、ディスクがいっぱいではないかチェックしてください。
6027	JSON形式がまちがっています。パラメータがインターフェースの要件に適合しているかチェックしてください。具体的なエラー情報を確認するには、いずれかのフィールドを定義してください。
6028	メモリ不足です。メモリリークの可能性があります。iOSプラットフォームの場合はInstrumentツール、Androidプラットフォームの場合はProfilerツールを使用して、どの部分のメモリ使用率が高いか分析します。
6001	PBの解析に失敗しました。内部エラー。
6002	PBのシリアライズに失敗しました。内部エラー。

6013	IM SDKが初期化されていません。初期化成功のコールバックの後にリトライします。
6005	ローカルデータベースのローディング操作に失敗しました。保存ファイルが壊れている可能性があります。
6019	ローカルデータベースの操作に失敗しました。一部のディレクトリに権限がないか、またはデータベースファイルが壊れている可能性があります。
7001	クロススレッドエラー。異なるスレッドを跨いで実行できません。内部エラー。
7002	TinyIdは空で、内部エラー。UserIDが存在するかどうかを確認してください。
7003	UserIDが不正です。空にしないでください。ASCII文字コード (0x20-0x7e) で印字する必要があります。長さは32byteを超えないこと。
7004	ファイルが存在しません。ファイルパスが正しいかチェックしてください。
7005	ファイルサイズが制限を超えています。ファイルをアップロードする場合は、最大100MBまでです。
7006	空ファイルです。ファイルサイズは0byteではないようにしてください。画像、音声、ビデオまたはファイルをアップロードする場合は、ファイルが正しく生成されているかチェックしてください。
7007	ファイルが開けません。ファイルが存在しているか、またはすでに開かれて独占されているため、SDKの立ち上げに失敗していないかチェックしてください。
7008	API呼び出しの頻度が多すぎます。インターフェースを頻繁に呼び出すことを回避してください。
7009	実行中に終了します。たとえば、ログイン中、unInitを呼び出してSDKの利用を停止します。
7010	database操作失敗です。
7011	databaseで検索されたデータが存在しません。
7012	SDK内部で発生するわけのない内部エラー
7013	パッケージはそのインターフェースの使用をサポートしません。フラグシップ版のパッケージへアップグレードしてください。
7014	不正なリクエスト。インターフェース呼び出しが要求を満たしているかどうかを確認してください。
7015	SDKのローカルコンテンツ審査により、センシティブな単語が含まれます。

## アカウントのエラーコード

--	--

エラーコード	説明
6014	IM SDKにログインしていません。先にログインし、成功コールバックに成功してからもう一度お試しください。または排除されてすでにオフラインになっていますので、TIMManager.getLoginUserを使用して現在オンラインかどうかをチェックしてください。
6026	自動ログイン時に、当該ユーザーにログインされていません。この時はloginインターフェースを呼び出し、再度ログインします。
6206	UserSigが期限切れです。有効なUserSigを改めて取得してから再度ログインしてください。取得方法については、 <a href="#">UserSigの生成</a> をご参照ください。
6208	他の端末が同じアカウントでログインしているため、ログイン済みのアカウントに排除されました。もう一度ログインする必要があります。
7501	ログインを実行中です。例えば、初回のloginまたはautoLogin操作がコールバック前であると、後続のloginまたはautoLogin操作でこのエラーコードが返ってきます。
7502	ログアウトを実行中です。例えば、初回のlogout操作がコールバック前であると、後続のlogout操作でこのエラーコードが返ってきます。
7503	TLS SDKの初期化に失敗しました。内部エラー。
7504	TLS SDKが初期化されていません。内部エラー。
7505	TLS SDKのTRANSパケット形式がまちがっています。内部エラー。
7506	TLS SDKの復号に失敗しました。内部エラー。
7507	TLS SDKのリクエストに失敗しました。内部エラー。
7508	TLS SDKのリクエストがタイムアウトしました。内部エラー。

## メッセージのエラーコード

エラーコード	説明
6004	セッションが無効です。getConversation時にログイン済みかどうかチェックします。ログインしないでセッションを取得すると、このエラーコードが返ってきます。
6006	ファイル転送の認証に失敗しました。ファイル形式が正しいかどうかご確認ください。
6007	ファイル転送でのServerリスト取得に失敗しました。
6008	ファイル転送のアップロードに失敗しました。ネットワークが接続されているかチェックしてください。アップロードするファイルが画像の場合は、画像が正常に開けるか確認してく

	ださい。
6031	ファイル転送のアップロードに失敗しました。アップロードした画像が正常に開くかどうかを確認してください。
6009	ファイル転送のダウンロードに失敗しました。ネットワーク、またはファイルや音声の期限切れになっていないかをチェックしてください。現在、リソースファイルの保存は7日間です。
6010	HTTPリクエストに失敗しました。URLアドレスが正当かどうかチェックしてください。ウェブページのブラウザでこのURLアドレスにアクセスすることができます。
6016	IM SDKのメッセージelemが無効です。具体的なエラー情報を確認するには、いずれかのフィールドを定義してください。
6021	無効なオブジェクト。例えば、ユーザー自身が生成したTIMImageオブジェクト、または内部でアサインされた値が正しくないため、オブジェクトが無効になっています。
8001	メッセージ長が制限を超えています。12k以内にする必要があります。メッセージ長は各elemの長さの合計であり、elemの長さはすべてのelemフィールドの長さの合計です。
8002	メッセージKEYエラー、内部エラー。ネットワークリクエストパッケージのKEYとリターンパッケージが一致しません。
8003	画像変換のHTTPリクエストに失敗しました。
8004	Cloud Imageはポルノ検出などの原因でサムネイル変換に失敗しました。
8005	マージする転送メッセージのネストレベルが上限の100レベルを超えています。
8006	メッセージの変更が競合しています。変更をリクエストしたメッセージは他のユーザーによって変更されています。
8010	シグナリングのリクエストIDが無効か、またはすでに処理されています。
8011	シグナリングをリクエストする権限がありません。例えば、自分以外が行った招待をキャンセルする権限です。
8012	シグナリング招待は既に存在します。
8020	メッセージがキャンセルされるとき、キャンセルされたメッセージは存在しないか、正常に送信されました。キャンセルに失敗しました。
8021	メッセージがキャンセルされたため、送信に失敗しました。

## グループのエラーコード

エラーコード	説明
--------	----

ド	
8501	グループID（グループの唯一のID）が不正です。カスタムグループIDは、印刷可能なASCII文字（0x20-0x7e）でなければなりません。最長48バイトとし、プレフィックスに@TGS#を設定することはできません（サーバーにデフォルトで割り当てられたグループIDとの混同を避けるため）。
8502	グループ名が不正です。グループ名は最長30byte、文字コードはUTF-8にする必要があります。中国語が含まれていると、複数のbyteで1つの中国語の文字を表示しますので、文字列のbyteの長さに注意してください。
8503	グループの概要が不正です。グループの概要は最大240byte、文字コードはUTF-8にする必要があります。中国語が含まれていると、複数のbyteで1つの中国語の文字を表示しますので、文字列のbyteの長さに注意してください。
8504	グループの公告が不正です。グループの公告は最大300byte、文字コードはUTF-8にする必要があります。中国語が含まれていると、複数のbyteで1つの中国語の文字を表示しますので、文字列のbyteの長さに注意してください。
8505	グループのプロフィール画像URLが不正です。グループのプロフィール画像URLは最大100byteです。ウェブページのブラウザでこのURLアドレスにアクセスできます。
8506	グループネームカードが不正です。グループネームカードは最大50byte、文字コードはUTF-8にする必要があります。中国語が含まれていると、複数のbyteで1つの中国語の文字を表示しますので、文字列のbyteの長さに注意してください。
8507	グループ参加者数の制限超過。グループ作成および参加者招待時に、指定した参加者数が制限を超過しています。最大グループ参加者数は、プロフェッショナル版は200人で、付加価値サービスにより2000人まで拡張できます。フラッグシップ版は2000人で、付加価値サービスにより6000人まで拡張できます。AVチャットルームおよびオンライン参加者向けに放送する大規模グループは無制限です。
8508	Privateグループへの参加申請は許可されていません。任意のグループメンバーがグループへの参加を招待でき、被招待者側の同意は不要です。
8509	ロールがグループマスターであるメンバーを招待することは許可されていません。ロールフィールドの入力が正しいかチェックしてください。
8510	招待するメンバーを0人とすることは許可されていません。メンバーのフィールドが正しく入力されているかチェックしてください。
8511	グループ属性インターフェースの操作制限：追加・削除・変更インターフェースのバックグラウンド制限は1秒ごとに5回、検査インターフェースSDKの制限は5秒ごとに20回です。
8512	グループオンライン人数取得インターフェースの操作制限：検索インターフェースSDK制限は60秒ごとに1回です。
8513	グループ情報取得インターフェースの操作制限：検索インターフェースSDKの制限は1秒ごと

	に1回です。
8514	参加したグループリスト取得インターフェースの操作制限：検索インターフェースSDKの制限は1秒ごとに1回です。
8515	グループメンバーのタグ付けは許可されていません。

## リレーションシップチェーンのエラーコード

エラーコード	説明
9001	プロファイルフィールドが不正です。プロファイルには標準設定のフィールドとカスタムフィールドをサポートしていますが、そのうちカスタムフィールドのキーワードは、必ず英文字とし、長さは8byte以下とします。カスタムフィールドの値は最大で500byteを超えないようにしてください。
9002	備考フィールドの不正です。最大96byte、文字コードはUTF-8にする必要があります。中国語が含まれていると、複数のbyteで1つの中国語の文字を表示しますので、文字列のbyteの長さに注意してください。
9003	フレンド追加をリクエストするリクエストの説明のフィールドが不正です。最大120byte、文字コードはUTF-8にする必要があります。中国語が含まれていると、複数のbyteで1つの中国語の文字を表示しますので、文字列のbyteの長さに注意してください。
9004	フレンド追加をリクエストする追加ソース元のフィールドが不正です。ソース元には「AddSource_Type_」のプレフィックスを追加する必要があります。
9005	フレンドグループ分けのフィールドが不正です。空にすることはできません。各グループ分けの名称は最大30byte、文字コードはUTF-8にする必要があります。中国語が含まれていると、複数のbyteで1つの中国語の文字を表示しますので、文字列のbyteの長さに注意してください。
9006	数量制限を超えています。

## ネットワークのエラーコード

エラーコード	説明
9501	SSO暗号化に失敗しました。内部エラー。
9502	SSOの復号に失敗しました。内部エラー。
9503	SSOの認証が完了していません。ログインが完了していない可能性があります。ログイン完了後に再度操作してください。



9504	データパックの圧縮に失敗しました。内部エラー。
9505	データパックの解凍に失敗しました。内部エラー。
9506	呼び出し頻度が制限されています。リクエスト発信は1秒につき最大5回までです。
9507	ネットワークリクエストのキューが同時リクエスト数の最大制限値を超過しています。最大リクエスト数は1000です。例えば、ネットワークの異常時に絶え間なくメッセージを送信すると、ネットワークリクエストのキューは入ってくるのみで減らないため、リクエスト数がすぐに最大に達します。
9508	ネットワークが切断され、接続が確立していないか、またはsocket接続を確立した時、ネットワークがないと検出されました。
9509	ネットワーク接続がすでに確立されているのに、接続の作成を繰り返しています。内部エラー。
9510	ネットワーク接続確立のタイムアウトです。ネットワークの回復を待ってからもう一度お試しください。
9511	ネットワーク接続が拒否されました。リクエスト回数が多すぎて、サーバーがサービスを拒否しています。
9512	ネットワークの利用可能なルートにたどり着けません。ネットワークの回復を待ってからもう一度お試しください。
9513	システムの中に呼び出しを完了するための十分なバッファのキャパシティーリソースがありません。システムがビジー状態です。内部エラー。
9514	相手側が接続をリセットしました。サーバーがオーバーロードのため、SDKの内部で自動的に再接続した可能性があります。ネットワーク接続成功のonConnSucc (iOS) またはonConnected (Android) のコールバックを待ってからもう一度お試しください。
9515	socket (ソケット) が無効です。内部エラー。
9516	IPアドレス解析に失敗しました。内部エラー。ローカルimsdk_configファイルが壊された可能性があります。読み取りできたIPアドレスが不正です。
9517	ネットワークを中間ノードに接続またはサーバーの再起動により、接続が無効になっています。内部エラー。SDK内部において自動で再接続しています。ネットワーク接続成功のonConnSucc (iOS) またはonConnected (Android) のコールバックを待ってからもう一度お試しください。
9518	リクエストパケットの進入待ち送信キューの待機のタイムアウトです。送信時のネットワーク接続確立が遅いか、または頻繁にネットワークが切断して再接続する時に、このエラーが出ます。ネットワーク接続が正常かどうかチェックしてください。
9519	リクエストパケットがすでにIM SDKの送信待ちのキューに入り、OSのネットワーク層に入

	るために待機している時のタイムアウトです。一般的な原因としては、ローカルネットワークが制限されている/つながっていないか、またはローカルネットワークとIM SDKバックエンドが接続されていない可能性があります。異なるネットワーク環境でそれぞれIM SDKを動作させて、現在のネットワーク環境の問題に起因するものかを確認してください。
9520	リクエストパケットがすでにIM SDK送信待ちキューからOSネットワーク層に入り、サーバーのレスポンスパケットのタイムアウトです。一般的な原因としては、ローカルネットワークが制限されている/つながっていないか、またはローカルネットワークとIM SDKバックエンドが接続されていない可能性があります。異なるネットワーク環境でそれぞれIM SDKを動作させて、現在のネットワーク環境の問題に起因するものかを確認してください。
9521	リクエストパケットが送信待ちキューに入っており、一部データが送信済みで、送信待ちの残りの部分にタイムアウトが発生しています。アップリンクの帯域幅が不足している可能性があるため、ネットワークがスムーズに繋がるかどうかご確認ください。エラーコードをコールバックするとネットワーク化されていないことが検出されます。
9522	リクエストパケットの長さが制限より大きいです。最大1MBをサポートします。
9523	リクエストパケットが送信待ちキューに入っており、システム進入待ちのネットワークbufferがタイムアウトです。データパケットが多すぎるか、または送信スレッドを処理できず、エラーコードをコールバックするとネットワーク化されていないことが検出されます。
9524	リクエストパケットがシステムのネットワークbufferに入っており、サーバーのパケットリターンの待機がタイムアウトです。リクエストパケットが端末デバイスから離れず、中間のルートが廃棄され、サーバーが予期せずパケット損失またはパケットリターンし、ネットワーク層がシステムによって廃棄される可能性があります。エラーコードをコールバックするとネットワーク化されていないことが検出されます。
9525	リクエストパケットが送信待ちキューに入っており、一部データが送信済みで、送信待ちの残りの部分にタイムアウトが発生しています。アップリンクの帯域幅が不足している可能性があるため、ネットワークがスムーズに繋がるかどうかご確認ください。エラーコードをコールバックするとネットワーク化されていないことが検出されます。

## (二) サーバーのエラーコード

### アクセス層のエラーコード

エラーコード	説明
-302	Serverの接続数が制限を超過し、サーバー側がサービスを拒否しています。
-10001	Key期限切れ。Keyは、UserSigが生成する内部証明書であり、Keyの有効期間はUserSigの有効期間より小さいか、またはそれと同じとなります。TIMManager.getInstance().loginのログインインターフェースを改めて呼び出し、新しいKeyを生成してください。

-10003	Ticket期限切れ。Ticketは、UserSigが生成する内部証明書であり、Ticketの有効期間はUserSigの有効期間より小さいか、またはそれと同じとなります。 TIMManager.getInstance().loginのログインインターフェースを改めて呼び出し、新しいTicketを生成してください。
-10004	証明書が検証に失敗しました。TIMManager.getInstance().loginログインインターフェースを改めて呼び出し、新しい証明書を生成してください。
-10005	空のKeyは許可されていません。
-10006	Keyのアカウントがリクエストパッケージヘッダーのアカウントと一致しません。
-10007	認証コード転送のタイムアウト。
-10008	KeyとTicketを付加してください。
-10009	Cookieチェックが一致しません。
-10106	復号化の失敗回数がしきい値を超えて、端末に再設定が必要であることを通知します。 TIMManager.getInstance().loginのログインインターフェースを改めて呼び出し、新しいKeyを生成してください。
-10108	前払い料金を滞納しています。
-10109	リクエストパケット形式のエラー。
-10110	SDKAppIDブラックリスト。
-10111	SDKAppIDをservice cmdブラックリストに設定します。
-10112	SDKAppIDの使用停止。
-10113	頻度制限(ユーザー)。頻度制限とは、あるプロトコルに対する1秒あたりのリクエスト回数の制限のことです。
-10114	オーバーロードによるパケットロス(システム)。接続するサーバーが処理するリクエストが多すぎ、処理が間に合わないため、サービスを拒否しています。
-20009	端末のインターフェースアクセスが頻度制限を超えています。

## リソースファイルのエラーコード

エラーコード	説明
114000	送信しようとしているリソースファイルが存在しません。
114001	送信しようとしているリソースファイルのアクセスが許可されていません。

114002	ファイルサイズが制限を超えています。
114003	ユーザーの送信取り消し。例えば、送信中のログアウトなどが原因です。
114004	ファイル内容の読み取りに失敗しました。
114005	リソースファイル（例：画像、ファイル、音声、ビデオ）転送のタイムアウト。一般的にネットワークの問題に起因します。
114011	不正なパラメータ。
115066	ファイルMD5検証に失敗しました。
115068	セグメントのMD5検証に失敗しました。

### バックエンドの共通エラーコード

エラーコード	説明
60002	HTTP解析エラー。HTTPリクエストURLの形式をチェックしてください。
60003	HTTPリクエストのJSON解析エラー。JSON形式をチェックしてください。
60004	リクエストURIまたはJSON形式パケットの中のUserIDまたはUserSigのエラー。
60005	リクエストURIまたはJSON形式パケットの中のUserIDまたはUserSigのエラー。
60006	SDKAppIDが失効しています。SDKAppIDの有効性を確認してください。
60007	RESTインターフェースの呼び出し頻度が制限を超えています。リクエスト頻度を下げてください。
60008	サーバーリクエストのタイムアウトまたはHTTPリクエストの形式エラーです。確認のうえ、もう一度お試しください。
60009	不正なリソースリクエストです。リクエストURLをチェックしてください。
60010	REST APIでリクエストするUserIDのフィールドにApp管理者アカウントを入力してください。
60011	SDKAppIDのリクエストの頻度が制限を超えています。リクエスト頻度を下げてください。
60012	RESTインターフェースにSDKAppIDを含める必要があります。リクエストURLの中のSDKAppIDをチェックしてください。
60013	HTTPレスポンスパケットのJSON解析エラー。

60014	アカウント置換のタイムアウト。
60015	リクエストパケットのUserIDのタイプエラー。UserIDが文字列形式になっているか確認してください。
60016	SDKAppIDの使用が禁止されています。
60017	リクエストの使用が禁止されています。
60018	リクエスト頻度が多すぎます。しばらくしてからもう一度お試しください。
60019	リクエスト頻度が多すぎます。しばらくしてからもう一度お試しください。
60020	Premier Editionパッケージの有効期限が切れて、停止されています。 <a href="#">IM購入ページ</a> にログインして、パッケージを再購入してください。購入後、5分間で有効になります。
60021	RestAPI呼び出し元IPが不正です。
80001	メッセージ内のテキストにはセンシティブコンテンツがあるため、配信は禁止されています。
80002	メッセージ送信パケットが長すぎます。現在サポートしているメッセージパケット長は最大8kです。パケットサイズを小さくしてからもう一度お試しください。
80003	1対1チャットのメッセージを送信する前にコールバックが失敗するか、グループチャットメッセージを送信する前にコールバックが失敗するか、パケット応答がタイムアウトし、メッセージがデリバーされない。コンソールで <a href="#">イベントが発生する前のコールバックタイムアウトの処理ポリシー</a> を自己構成できます。
80004	メッセージ中の画像にはセンシティブコンテンツがあるため、配信は禁止されています。

## アカウントのエラーコード

エラーコード	説明
70001	UserSigがすでに期限切れです。再度生成してください。UserSigの有効期間の設定は24時間以上にすることを推奨します。
70002	UserSigの長さが0です。入力したUserSigが正しいかチェックしてください。
70003	不正なUserSigです。公式サイトで提供するAPIを使用して再度 <a href="#">UserSigの生成</a> で生成してください。
70005	不正なUserSigです。公式サイトで提供するAPIを使用して再度 <a href="#">UserSigの生成</a> で生成してください。
70009	UserSig検証に失敗しました。UserSigの生成時にその他のSDKAppIDの秘密鍵または暗号鍵を混在させた可能性があります。対応するSDKAppIDの秘密鍵または暗号鍵を使用して、再度

	<a href="#">UserSigの生成</a> で生成してください。
70013	リクエストの中のUserIDとUserSig生成時に使用したUserIDがマッチしません。IMコンソールの【 <a href="#">開発支援ツール</a> 】のページでUserSigを検証することができます。
70014	リクエストの中のSDKAppIDとUserSig生成時に使用したSDKAppIDがマッチしません。IMコンソールの【 <a href="#">開発支援ツール</a> 】のページでUserSigを検証することができます。
70016	公開鍵が存在しないため、UserSig検証に失敗しました。IMコンソールで <a href="#">キーを取得</a> してください。
70020	SDKAppIDが見つかりません。IMコンソールでアプリケーション情報を確認してください。
70050	UserSig検証の頻度が高すぎます。UserSigが正しいかチェックし、1分後に再度検証してください。IMコンソールの【 <a href="#">開発支援ツール</a> 】のページでUserSigを検証することができます。
70051	アカウントがブラックリストに入れられました。
70107	リクエストしたユーザーアカウントが存在しません。
70114	セキュリティ上の理由によりログインが制限されています。頻繁にログインしないでください。
70169	サーバー内部のタイムアウト。しばらくしてからもう一度お試しください。
70202	サーバー内部のタイムアウト。しばらくしてからもう一度お試しください。
70206	リクエストの中のバッチ数量が不正です。
70402	不正なパラメータ。入力必須フィールドに入力されているか、またはフィールドの入力がプロトコル要件を満たしているかチェックしてください。
70403	リクエストに失敗しました。Appの管理者権限が必要です。
70398	アカウント数が制限を超えています。100個を超えるアカウントを作成する必要がある場合、アプリケーションをプロフェッショナル版にアップグレードしてください。具体的な操作方法については、 <a href="#">購入ガイドライン</a> をご参照ください。
70500	サーバー内部エラー。しばらくしてからもう一度お試しください。
71000	アカウントの削除に失敗しました。体験版アカウントの削除のみサポートしています。ご利用のアプリケーションはプロフェッショナル版のため、現在はアカウントの削除がサポートされていません。
72000	現在のアプリケーションは体験版であり、1日のアクティブユーザー（DAU）の数が無料利用枠を超えています。この制限を解除するには、アプリケーションをプロフェッショナル版またはフラッグシップ版にアップグレードしてください。具体的な操作方法については、 <a href="#">購入ガイドライン</a> をご参照ください。

72001	コンソールでユーザーステータススクエリおよびステータス変更通知の設定を有効にしてください。具体的な操作ガイドについては、 <a href="#">操作ガイド</a> をご参照ください
-------	---

## プロフィールのエラーコード

エラーコード	説明
40001	リクエストパラメータのエラー。エラーの説明にしたがいリクエストが正しいかチェックしてください。
40002	リクエストパラメータのエラー。プロフィールをプルしたいユーザーアカウントが指定されていません。
40003	リクエストしたユーザーアカウントが存在しません。
40004	リクエストにはAppの管理者権限が必要です。
40006	サーバーの内部エラー。しばらくしてからもう一度お試しください。
40007	プロフィールフィールドの読み取り権限がありません。詳細については、 <a href="#">プロフィールフィールド</a> をご参照ください。
40008	プロフィールフィールドの書き込み権限がありません。詳細については、 <a href="#">プロフィールフィールド</a> をご参照ください。
40009	プロフィールフィールドのTagが存在しません。
40601	プロフィールフィールドのValueの長さが500byteを超えています。
40605	標準設定のプロフィールフィールドのValueエラー。詳細については、 <a href="#">標準データフィールド</a> をご参照ください。
40610	プロフィールフィールドのValueタイプがマッチしません。詳細については、 <a href="#">標準データフィールド</a> をご参照ください。

## リレーションシップチェーンのエラーコード

エラーコード	説明
30001	リクエストパラメータのエラー。エラーの説明にしたがいリクエストが正しいかチェックしてください。
30002	SDKAppIDがマッチしません。
30003	リクエストしたユーザーアカウントが存在しません。



30004	リクエストにはAppの管理者権限が必要です。
30006	サーバー内部エラー。もう一度お試しください。
30007	ネットワークのタイムアウト。しばらくしてからもう一度お試しください。
30008	同時書き込みにより書き込みが競合しています。バッチ方式の利用を推奨します。
30009	バックエンドが当該ユーザーのフレンド追加リクエスト送信を禁止しています。
30010	自分のフレンド数がすでにシステムの上限に達しています。
30011	グループ分けがすでにシステムの上限に達しています。
30012	未決数がすでにシステムの上限に達しています。
30013	ブラックリスト数がすでにシステムの上限に達しています。
30014	相手側のフレンド数がすでにシステムの上限に達しています。
30515	フレンド追加のリクエスト時、相手側が自分のブラックリストにいるため、フレンド追加が許可されません。
30516	フレンド追加のリクエスト時、相手側のフレンド追加認証方式がいかなる人も自分をフレンドにすることを許可しないに設定されています。
30525	フレンド追加のリクエスト時、自分が相手側のブラックリストに入っているため、フレンド追加が許可されません。
30539	AがBをフレンドに追加するリクエストをし、Bのフレンド追加認証方式が「AllowType_Type_NeedConfirm」に設定されていると、この時AとBの間では未決関係のみ成立し、そのリターンコードは未決追加成功の標識にのみ使用され、フレンド追加成功のリターンコードとは区別できるようになっています。呼び出した側はこのエラーをキャプチャし、ユーザーに合理的なプロンプトを与えることができます。
30540	フレンド追加リクエストがセキュリティポリシーに抵触しています。頻繁にフレンド追加リクエストを発信しないでください。
30614	リクエストの未決が存在しません。
31704	削除をリクエストしたアカウントとの間にフレンドシップは存在しません。
31707	フレンド削除のリクエストが安全ポリシーに抵触しています。頻繁にフレンド削除のリクエストを発信しないでください。
31804	リクエストしたユーザーアカウントが存在しません。

## 最近連絡した人のエラーコード



エラーコード	説明
50001	リクエストしたユーザーアカウントが存在しません。
50002	リクエストパラメータのエラー。エラーの説明にしたがいリクエストが正しいかチェックしてください。
50003	リクエストにはAppの管理者権限が必要です。
50004	サーバー内部エラー。もう一度お試しください。
50005	ネットワークのタイムアウト。しばらくしてからもう一度お試しください。
51006	セッションマーカを変更した際、調整されたセッション数が空または上限の100を超えています。
51007	GroupIDのGroupCodeへの変換に失敗しました。内部エラーまたはGroupがすでに解散しています。
51008	セッショングループの全セッション数が1000を超えています。
51009	セッショングループを削除するとグループが存在しなくなります。
51010	セッショングループ数が20の上限を超えています。
51011	セッショングループ名が32文字を超えています。
51012	トップ表示セッションの上限数を超過しました。トップ表示セッションの最大数は50件で、追加できません。

## メッセージのエラーコード

エラーコード	説明
20001	不正なリクエストパケットです。
20002	UserSigまたはA2が失効しています。
20003	メッセージの送信側または受信側のUserIDが無効または存在しません。UserIDがIMにインポートされているかチェックしてください。
20004	ネットワークの異常。もう一度お試しください。
20005	サーバー内部エラー。もう一度お試しください。
20006	シングルチャットメッセージ送信前のコールバックがトリガーされ、Appバックエンドが当該

	メッセージの転送禁止を返しました。
20007	シングルチャットのメッセージ送信が、相手側からブラックリストに入れられ、送信が禁止されました。 メッセージの送信状態は、デフォルトでは失敗と表示するようになっています。コンソールにログインして当該のシナリオにおけるメッセージ送信状態の表示結果を修正することができます。具体的な操作については、 <a href="#">ブラックリストチェック</a> をご参照ください。
20008	メッセージ送信側と受信側が異なるSDKAppIDに属しています。原因は、クライアントがSDKAppIDを切り替えたのに、データベースが消去されていないことにあります。解決方法はSDKAppID切り替え時に元のデータベースを削除することです。
20009	メッセージ送信の双方が互いにフレンドではなく、送信が禁止されています（シングルチャットメッセージでフレンドシップの検証が設定されていると出現します）。
20010	シングルチャットメッセージの送信は、自分が相手側のフレンドではない（単一方向関係）場合、送信が禁止されています。
20011	シングルチャットメッセージの送信は、相手側が自分のフレンドではない（単一方向関係）ため、送信が禁止されています。
20012	送信側の発言がミュートされており、このメッセージは送信が禁止されています。
20016	メッセージ取り消しの時間制限を超えています（デフォルトは2分間）。
20018	ローミング削除の内部エラー。
20022	該当する取り消し待ちのメッセージが存在しません。チェックしてください。
20023	当該メッセージはすでに取り消されています。
20028	メッセージの同時変更により競合が発生しています。もう一度お試しください。
21005	token設定のリクエストがログインリクエストよりも先にバックエンドに届いています。先にログインしてから、token設定を行うようにしてください。
22001	いかなるオフラインプッシュ証明書もアップロードされていません。
22002	ネットワークの異常。もう一度お試しください。
22003	アップロードしたtokenが空です。
22004	アップロードしたtoken長が256byteを超えています。
22005	ログインリクエストデータが1024byteを超えています。
22006	リクエストの頻度制限を超えています。
90001	JSON形式の解析に失敗しました。リクエストパッケージがJSONの規定に適合しているか

	チェックしてください。
90002	JSON形式リクエストパケットの中のMsgBodyがメッセージ形式の説明に適合しないか、またはMsgBodyがArrayタイプではありません。TIMMsgElementオブジェクトの定義をご参照ください。
90003	JSON形式リクエストパケットの中のTo_Accountフィールドが破損しているか、またはTo_Accountアカウントが存在しません。
90005	JSON形式リクエストパケットの中のMsgRandomフィールドが破損しているか、またはMsgRandomフィールドがIntegerタイプではありません。
90006	JSON形式リクエストパケットの中のMsgTimeStampフィールドが破損しているか、またはMsgTimeStampフィールドがIntegerタイプではありません。
90007	JSON形式リクエストパケットの中のMsgBodyタイプがArrayタイプではありません。Arrayタイプに修正してください。
90008	JSON形式リクエストパケットの中のFrom_Accountフィールドが欠けているか、またはFrom_Accountアカウントが存在しません。
90009	リクエストにはAppの管理者権限が必要です。
90010	JSON形式リクエストパケットがメッセージ形式の説明に適合しません。TIMMsgElementオブジェクトの定義をご参照ください。
90011	メッセージを一括送信するターゲットアカウントが500を超えています。To_Accountの中のターゲットアカウント数を減らしてください。
90012	To_Accountが登録されていないか、または存在しません。To_AccountがIMにインポートされているか、またはスペルエラーでないか確認してください。
90018	リクエストしたアカウント数が制限を超えています。
90022	プッシュ条件の中のTagsOrとTagsAndに重複するタグがあります。
90024	プッシュ頻度が高すぎます。各々のプッシュ間隔は1秒を上回る必要があります。
90026	メッセージのオフライン保存時間のエラー（最大でも7日間です）。
90030	属性の長さが0または50を超えています。
90031	JSON形式リクエストパケットの中のSyncOtherMachineのフィールドがIntegerタイプではありません。
90032	プッシュ条件の中のtag数が10を超えているか、またはタグ追加リクエストの中のタグ数が10を超えています。
90033	属性が無効です。

90034	タグの長さが50を超えています。
90040	プッシュ条件の中のtagの1つが空です。
90043	JSON形式リクエストパケットのOfflinePushInfoがメッセージ形式の説明と一致しません。 <a href="#">OfflinePushInfo オブジェクト</a> の定義をご参照ください。
90044	JSON形式リクエストパケットの中のMsgLifeTimeフィールドがIntegerタイプではありません。
90045	全員のプッシュ機能がアクティブになっていません。
90047	プッシュ回数が当日の限度枠を超えています（デフォルトは100回）。
90048	リクエストしたユーザーアカウントが存在しません。
90054	取り消しリクエストの中のMsgKeyが不正です。
90055	バッチ送信のメッセージのパケットが長すぎます。現在サポートしているメッセージのパケット長は最大8kです。
90994	サーバー内部エラー。もう一度お試しください。
90995	サーバー内部エラー。もう一度お試しください。
91000	サーバー内部エラー。もう一度お試しください。
90992	サーバー内部エラー。もう一度お試しください。全てのリクエストにこのエラーコードが返り、かつAppにサードパーティのコールバックを設定している場合は、Appサーバーが正常にIMバックエンドサーバーに向けてコールバックの結果を返しているかチェックしてください。
93000	JSONデータパケットが長すぎます。メッセージのパケットが8kを超えないようにしてください。
91101	Web端末のロングポーリングが排除されました（Web端末の同時オンラインインスタンス数が制限を超えています）。
120001 - 130000	シングルチャットのサードパーティのコールバックが返しカスタムエラーコードです。

## グループのエラーコード

エラーコード	説明
10002	サーバー内部エラー。もう一度お試しください。

10003	リクエストの中のインターフェース名のエラー。インターフェース名を照合してからもう一度お試しください。
10004	不正なパラメータ。エラーの説明にしたがいリクエストが正しいかどうかチェックしてください。
10005	リクエストパケットの中に添付されているアカウント数が多すぎます。
10006	操作頻度の制限。呼び出しの頻度を落としてお試しください。
10007	操作権限が不足しています（例えば、 <b>Public</b> グループの中の普通メンバーが退場操作を試みましたが、 <b>App</b> 管理者のみ権限がある場合、またはグループメンバー以外が操作した場合）。
10009	当該グループはグループマスターの自発的退出を許可していません。
10010	グループが存在しないか、またはかつて存在していたが、現在すでに解散しています。
10011	JSONパケットの解析に失敗しました。パケットの形式がJSON形式に適合しているかチェックしてください。
10012	操作を発動したUserIDが不正です。操作を発動したユーザーのUserIDが正しく記入されているかチェックしてください。
10013	ユーザーはすでにグループメンバーです。
10014	グループが満員のため、リクエスト中のユーザーをグループに参加させることができません。一括で追加している場合は、参加ユーザー数を減らしてみてください。
10015	無効なグループIDです。グループが存在しないか、解散したことを示します。
10016	<b>App</b> バックエンドがサードパーティのコールバックを介して今回の操作を拒否しました。
10017	ミュートされているためメッセージを送信できません。送信者がミュートになっていないかどうかチェックしてください。
10018	レスポンスパケット長が最大パケット長（1MB）を超えています。リクエストの内容が多すぎますので、1回のリクエストのデータ量を減らしてみてください。
10019	リクエストしたユーザーアカウントが存在しません。
10021	グループIDがすでに使用されています。別のグループIDを選択してください。
10023	メッセージ送信の頻度が制限を超えています。メッセージを送信する時間間隔を延ばしてください。
10024	この招待または申請リクエストはすでに処理されています。
10025	グループIDがすでに使用されています。操作者がグループマスターの場合は、直接使用することができます。

10026	このSDKAppIDがリクエストしたコマンドは使用が禁止されています。
10030	取り消しをリクエストしたメッセージが存在しません。
10031	メッセージ取り消しの時間制限を超えています（デフォルトは2分間）。
10032	取り消しをリクエストしたメッセージは取り消しがサポートされていません。
10033	グループタイプがメッセージの取り消し操作をサポートしていません。
10034	このメッセージタイプは削除操作をサポートしていません。
10035	AVチャットルームとオンラインメンバーの放送型大規模グループはメッセージの削除をサポートしていません。
10036	AVチャットルームの作成数が制限を超えています。 <a href="#">料金説明</a> をご参照のうえ、前払いパッケージ「IMAVチャットルーム」をご購入ください。
10037	1人のユーザーが作成および参加できるグループ数の制限を超えています。 <a href="#">料金説明</a> をご参照のうえ、前払いパッケージ「1人で作成および参加できるグループ数」を購入またはアップグレードしてください。
10038	グループメンバーの数が制限を超えています。 <a href="#">料金説明</a> 参照して、前払いパッケージ「グループメンバー数上限の拡張」を購入またはアップグレードしてください。（アップグレード後、 <a href="#">グループデータインターフェイスの変更</a> を呼び出して、グループメンバーの最大数を変更する必要があります）
10041	このアプリケーション（SDKAppID）は、グループメッセージの取り消しをサポートしないに設定されています。
10044	グループタイプが、AVChatRoomなどのローミングの取得をサポートしていないことを示します
10045	カスタム属性keyがサイズ制限32バイトを超えています。
10046	カスタム属性1個のvalがサイズ制限4000バイトを超えています。
10047	カスタム属性keyの数が制限16を超えています。
10048	カスタム属性のすべてのkeyに対応するvalサイズの和が上限の16000バイトを超えています。
10049	カスタム属性の書き込み操作トリガーの頻度が制御されています。
10050	存在しないカスタム属性を削除します。
10051	メッセージの削除が最大範囲の制限を超えています。
10052	メッセージを削除するときにメッセージがグループに存在しません。

10053	グループの@の数が上限の30を超えています。
10054	グループの参加者が多すぎます。ページを区切ってプルしてください。
10056	カスタム属性の書き込み操作が競合しています。最新のカスタム属性を取得してから書き込み操作を行ってください。
10058	体験版が100グループの制限を超えて、グループ数の制限を増やすためにパッケージを購入する必要があることを示します。
10059	この特徴をサポートするには、フラッグシップ版を購入してください。
10060	グループの人数は開封確認グループの上限を超えています。
10061	オンラインメッセージは開封確認をサポートしません。
10062	開封確認メッセージが存在しません。
10062	開封確認メッセージが存在しません。
10063	グループカウンタKey数が制限を超えています。最大20個となっています。
11000	コミュニティ機能が無効になっています。

## オフラインプッシュエラーコード

エラーコード	説明
-195	Google PushでのPushオブジェクトの構築に失敗しました。通常は証明書エラーが原因です。
-196	パラメータがありません。intentが選択されていますが、intentの値が設定されていません。
-197	証明書エラーです。証明書に関連するパラメータを確認してください。
-198	企業応答エラーです。
-199	企業ネットワーク異常です。
-200	IMのバックグラウンドのネットワークエラーです。
-201	トークンや証明書IDエラーなど、正当性チェックに失敗しました。
-202	企業にプッシュする前に、オブジェクトの構築に失敗しました。
-203	ファイアウェイの日別プッシュ制限。

## データ取得・操作のエラーコード



エラーコード	説明
1001	不正なリクエスト。「リクエストURL」が正しいかどうかチェックしてください。
1002	不正なパラメータ。管理者アカウントかどうか、入力必須フィールドに入力されているか、またはフィールドの入力がプロトコル要件を満たしているかチェックしてください。
1003	システムエラー。
1004	ファイルがまだ生成されていないか、またはリクエストの時間帯にメッセージがありません。
1005	ファイルが期限切れです。

### (三) IM SDK V3バージョンのエラーコード

エラーコード	説明
6003	バッチ操作に成功の結果がありません。
6011	受信側が無効です。
6012	リクエストのタイムアウト。
6018	INIT COREモジュールの失敗。
6020	SessionNodeがnullです。
6023	ログイン完了前にログアウトを行っています（ログイン時のリターン）。
6024	TLS SDKが初期化されていません。
6025	TLS SDKに対応するユーザー情報がありません。
6100	QALSDKが不明な原因よりBINDに失敗しました。
6101	SSO証明書が足りません。
6102	BINDの重複。
6103	TinyIdが空です。
6104	GUID が空です。



6105	レジストリパッケージの解凍に失敗しました。
6106	レジストリのタイムアウト。
6107	現在BIND操作中です。
6120	パケット送信の不明なエラー。
6121	リクエストパケットの送信時にネットワークがありません。
6122	レスポンスパケットの送信時にネットワークがありません。
6123	リクエストパケット送信時に権限がありません。
6124	SSOエラー。
6125	リクエストのタイムアウト。
6126	レスポンスのタイムアウト。
6127	再送信に失敗しました。
6128	再送信時に実際に送信されていません。
6129	保存がフィルタリングされました。
6130	送信のオーバーロード。
6131	データロジックのエラー。
6150	proxy_managerがサーバーデータの同期を完了していません。
6151	proxy_managerが現在サーバーデータの同期を行っています。
6152	proxy_managerが同期に失敗しました。
6153	proxy_managerのリクエストパラメータが、ローカルのチェックで不正となりました。
6160	Group assistantのリクエストフィールドの中にプリセット以外のフィールドが含まれていません。
6161	Group assistantがグループプロファイルのローカル保存を有効にしていません。
6162	グループプロファイルのロードに失敗しました。
6200	リクエストした時にネットワークがありません。
6201	応答した時にネットワークがありません。
6205	QALSDKサーバーの準備がまだ完了していません。

6207	アカウント認証に失敗しました (TinyId変換失敗)。UserIDが存在し、有効であることを確認してください。
6209	アプリケーションが起動後にネットへの接続を試みていません。
6210	QALSDKの実行に失敗しました。
6211	不正なリクエスト。toMsgServiceが不正です。
6212	リクエストキューがいっぱいです。
6213	他の端末から排除されました。
6214	サービスが一時停止されています。
6215	SSOのサインエラー。
6216	SSOのcookieが無効です。
6217	ログイン時のTLS SDKレスポンスパケットの検証において、パケット長が正しくありません。
6218	ログイン時のOPENSTATSVCSからOPENMSGに向けての状態報告のタイムアウト。
6219	ログイン時のOPENSTATSVCSからOPENMSGへの状態報告時にレスポンスパケットの解析に失敗しました。
6220	ログイン時のTLS SDKの復号に失敗しました。
6221	WIFIの認証が必要です。
6222	ユーザーが取り消されています。
6223	メッセージ取り消しの時間制限を超えています (デフォルトは2分間)。
6224	UGC拡張パッケージが不足しています。
6226	自動ログイン、ローカル証明書が期限切れです。 UserSigの手動ログインが必要です。
6300	利用可能なショートカット接続SSOがありません。
70101	ログイン時のリターンで、証明書が期限切れです。
90101	IM SDKは初期化済みです。再度初期化する必要はありません。
115000	OpenBDHエラーコード。
6250	リクエスト時にネットワークがありません。ネットワークの回復を待ってからもう一度お試しください。

6251	レスポンス時にネットワークがありません。ネットワークの回復を待ってからもう一度お試しください。
6252	QALSDKの実行に失敗しました。
6253	不正なリクエスト。toMsgServiceが不正です。
6254	リクエストキューがいっぱいです。
6255	他の端末から排除されています。
6256	サーバーが一時停止しています。
6257	SSOのサインエラー。
6258	SSOのcookieが無効です。

**ご注意：**

それでも問題が解決しない場合は、[チケットを提出](#)して、使用インターフェース、エラーコードおよびエラー情報をテクニカルサポートに提供してください。